

## わが職場

当社は昭和五十五年(一九八〇年)三菱電機(株)丸龜工場(現…三菱電機(株)受配電システム製作所)の開設に伴い、前身である石田金属工業(株)(現…石田エン지니어リング(株))が配電盤製造協力会社として神戸から移ってきたことに始まります。昭和五十六年に三豊市財田町の丸谷工業団地に進出し、石田金属工業(株)財田工場として創業、昭和五十八年に石田金属工業(株)より分離独立し、宝田電産株式会社として設立いたしました。以来、ビル・工場・電力会社等で使われる配電盤の設計、製造を主力事業として成長を続けております。

配電盤は、その受注の多くが設立のきっかけとなった三菱電機のOEMで、全国各地の大手企業プラント、電力会社へ納入した実績があります。現在も復興が続いている、東日本大震災にて被災した工場にもいち早く赴き、現地調査や超短納期での納入などインフラ復旧の一端を担っています。また、これまでのノウハウを生かし、産学官連携や、官公庁の支援を受け、新規分野への参入も積極的に取り組んでいます。生産ラインの自動搬送システムや印刷物の誤植を高速で検査するシステムの開発、貴重品管理システム

の開発や販売・保守を行い、さらなる挑戦を続けております。

これらの製品は、目には見えない電気を扱うものであり、わずかな気の緩みやミスが災害や重大な事故に繋がる要因をはらんでいます。同業他社の労災事故が毎月のように報告されています。当社においても、災害が発生していないから危険のない職場であるとは言いがちではありません。そのためには安全意識の高揚や、作業環境の整備、衛生管理の推進が必要です。

当社の安全衛生につきましては、毎年社長より示される『安全衛生目標』に基づく『安全衛生管理活動計画』に則って、全社を挙げ日々活動しております。毎月一日の安全祈願祭に始まり、毎月一回、安全衛生委員会の開催や管理職による安全パトロールやミーティングを実施し、職場の災害防止対策を行います。また、一般職から選挙によって選出された安全衛生推進委員長を中心として、各部署から選抜された安全推進委員と共に安全衛生推進委員会を組織し、各課重点目標を掲げ活動を行い、月末の推進委員ミーティングにて報告や情報交換など積極的な活動を展開しています。さらに委員以外の社員も分担して、クレーン、ワイヤーロープ、フォークリフトや各種機械工具、昇降台などの設

備点検を実施したり、KYT、危険個所のパトロール・不安全作業の巡視をしたり全員参加の悟動を行っています。一連の活動の継続、作業環境への配慮の結果、平成九年に「快適職場推進事業場」に認定されております。近年は、優れた改善提案をした社員(派遣社員・協力会社を含む)への表彰や報奨金制度を取り入れ、安全衛生に対する意識の活性化、継続的改善を図っています。

当社は設立三十年程の比較的若い企業です。幾度も経営環境の変化に直面してきました。そのたびに、人財力・技術力・社会貢献の3つの柱のもと全社一丸となって難局を乗り越え、成長を続けて参りました。

わが社の使命は、社員一人ひとりの技術をお客さま、そして社会に提供することです。いつの時代にも社員一人ひとりが働く喜びを感じ、社会から必要とされる会社であり続けたい。そのために、その根幹を支える『安全衛生』に対する意識を高め、より積極的な安全衛生活動を展開し、「快適職場」「0災職場」の維持継続に努めて参ります。今後とも宝田電産株式会社をよろしくお願ひ致します。

宝田電産株式会社

経営管理部 原 弘樹